

のぐち歯科・口腔外科医院だより

2019年夏号 Vol.10



ご存知ですか？「口腔がん」

今年2月下旬、タレント堀ちえみさんの「**口腔がん**」報道がありました。この報道をきっかけに自分は大丈夫かと不安になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？当院にも受診希望の方や症状に対するお問い合わせがたくさんありました。実は、口の中では、歯以外のすべての場所にがんができます。その中でも日本人の場合、最も多いのが「**舌がん**」です。舌がんは、口の中にできるがんの**約60%以上**を占めています。

国立がん研究センターの報告によると、年間約7,000人以上の方が口腔がんで亡くなっています。この数は、アメリカ合衆国の口腔がん死亡数と変わりません。アメリカと日本の人口の違いを考えると、日本は口腔がんで亡くなる方が多いことが分かります。この原因の1つとして進行がんが多く、そのことは口腔がん検診の普及率にあるとされています。アメリカ合衆国の口腔がん検診受診率は**70%以上**、日本は**10%未満**です。



当院口腔がん検診で使用している
蛍光観察装置「ORALOOK」

最近、日本で検診の大切さを示してくれた疾患は子宮頸がんです。婦人科検診の普及により、子宮頸がんの治療成績が良くなっています。早期発見、早期治療を実現するには、検診がカギになるということです。年に1度は「口腔がん検診」を受けて頂くことをお勧め致します。



知って得する歯科の知識 10

口腔がんセルフチェック

- タバコを吸う
- お酒をよく飲む方だ
- 治りにくい口内炎がある
- 出血を繰り返す傷がある
- 入れ歯が合わない
- 合わない詰め物、とがった虫歯がある
- 盛り上がるできもの、硬いできものがある
- 舌や頬の粘膜にこすっても取れない白いものがある
- 顎の下や首に固い腫れものがある
- のみ込みにくい

上記の項目で気になることがございましたら当院へご相談ください



おもしろラジオジャパン

先日、インターネットラジオ番組「おもしろラジオジャパン」の取材を受けました。番組内では、当院開業の経緯、口腔外科について、口腔がん検診について、そして趣味の野球のついてお話させていただきました。

ご興味のある方は当院ホームページからご覧ください。

<http://www.noguchi-dc.info/>

院長 野口和秀

